

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五〜六（公衆）〇四七二二二七二〇七

# 労働本部の道封鎖「60・3」決起する

臨調・行革粉碎！ 三里塚ジェット闘争勝利！

## 職場生産点からの実力決起へ！

### 各支部で着々と体制確立

「60・3」が「分割・民営化」、十〜十五万人首切りをスムーズに実現するための労働組合破壊攻撃である以上、これと闘う以外に労働者の生きる道がないことは明白だ。労働「本部」革マルの姿を見よ。「60・3」と闘わぬ者、「60・3」と闘うことに反対する者は、当局提案通りの殺人ダイヤに乗務し、すすんで出向、休職し、「過員」解消のために「キオスク」や「要員センター」へ行くしかないのだ。当局は、「情勢が厳しいから」と闘いのホコ先をおさめた労働運動さえもはや許さぬ攻撃に出てきている。こうした攻撃と今闘えなくていつ闘えるというのか。今後五年間をどう闘えるかが「60・3」にかかっているのだ。労働千葉は全組織をあげ、実力闘争に決起する。成田、津田沼支部で「60・3」決起にむけた集會がかちとられた。

### 最先頭で実力決起する

#### 第二次個別オルグへと前進中

#### 津田沼支部

津田沼支部は一月三〇日、六〇名の組合員の参加をもって職場集會を開催し、津田沼支部が最先頭で「60・3」に実力決起する意志一致を行った。

集會は昼休みに地上勤務者、一三時より乗務員を対象に行った。本部から布施書記長を迎え、綾部書記長の司会のもと、山下支部長、中江顧問のあいさつの後、布施本部書記長から「『60・3』を実力闘争も辞さず闘いぬく」との提起を受けた。

討論では、「『60・3』以降はどうなるのか」「キオスクなど、過員問題をどう考えているのか」「鉄道病院の合理化について」等々が出され、さらに「労働東京地本」に友人のいる組合員からは、「地本のやり方に組合員が怒っている」との話も紹介され、本部、支部から答弁を受けた。

支部は二月九日に拡大執行委員会を開催し、組合員との対話Ⅱ個別オルグを早急に実施し、「60・3」実力決起にむけた体制確立に全力をあげて取り組んでいく。

津田沼支部通信員・発



「60・3」の決起を促す青年部が固いスクラム。労働千葉の青年部が固いスクラム。(1月29日、津田沼での共闘集會)

### 成田支部 // 殺人的Bダイヤは認めない

#### 支部別集會と区長抗議交渉を展開

「60・3」において殺人ダイヤを提案され、基地縮小攻撃をうけている成田支部は一月二一日、二四日、三〇日に「ブロック集會」を開催し、区長抗議交渉を行った。

「運転保安」問題について回答するよう要求した。一月三〇日の区長抗議交渉では、組合員が「殺人ダイヤは許さないぞ。ダイヤを作る人が自分で乗ってみろ」「再建できるといふなら展望を示せ」「当局の責任転嫁を許さないぞ」と区長を追及し回答を求めた。区長は「効率化を図りたい」などと開き直り、ついには「私にもわからないこと、回答できないこともある」と黙りこんでしまった。

通勤地別三ブロックに分けて行われた一月二一日、二四日の集會では、「60・3」で提案されている殺人的なBダイヤは生活をおびやかす、運転保安上からもきわめて危険なものであり、労働者を人間扱いしない当局に怒りを叩きつけようとの意志一致を行い、抗議行動に移った。

組合員の怒りの声に何ひとつ答えられず、無能さをさらけ出す当局に対し、支部は「余剰人員」

成田支部通信員・発

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！